

あが「この組織方針は常に全国的産業別組合の確立に協力することを以て一貫する」ことが必要である。従つてこの方針によつて内部的の産業別整理を斷行すれば同盟内部に於て闘争力ある全国的乃至は地方的産業別組合の確立を促進するのみならず、それが必然に全体的な同種の産業別組合との協力合同を制戦する拍車となる

三、全国労働以外の労働団体との合同、組合戦線統一の方法については、従来近頃の指導精神をもつ団体間の合同及共同闘争は屢々行はれて来たので、今日の労働組合戦線統一運動は稍もすれば、右翼結成は大左翼結成の如く左右両翼にはつきり別れてなされるものであるが、如き誤つた見解が行はれてゐる。然し我が全国労働はかゝる大右翼結成、又は大左翼結成の如きは左右両翼の分裂主義の變形であると批判する。かゝる統一理論と運動の結果に於ては大衆的団体を對立状態に固定化せしめて徒らに組合戦線の分裂と混乱とを合理化するに過ぎない。

然らば我が全国労働は、只御座なりの単一組合戦線の結成を言ふかといふに然らず、我等は単一産業別組合の確立を通じての全国的同盟の結成を主張する。資本の攻勢が産業合理化の徹底とともに益々産業別線に沿ふて職場の大衆にのしかつて来る時、我等の組合戦線統一方針のみが一切の分裂主義的障礙を打破するのである。我等

は上述の如き主旨に基いて全国的産業別組合の確立に協力する団体を糾合して全国的協議機關を組織せんとするものである。

四、日本労働クラブは成立後日尙淺くその團内団体相互の間にも尚充分な訓練と歩調の一致を見るまでに至つてゐないが、クラブを活用することによつて、大右翼結成を阻止粉砕し、又大左翼結成の誤謬を清算することを期してゐる我等は、クラブが指導精神（政治的意見）の對立を離れて労働者の直接利害を基礎とする共通問題を處理し、廣く未加入の有力団体を参加せしめ、全国的労働組合會議として充かなる機能を發揮せしむべく努力すると共にこゝに参加する労働団体の産業別整理を促進せしむることが必要である。大右翼結成を實踐的に粉砕して全労働組合戦線統一を促進するためにはこの方針を輕視することとは出来ぬ。

五、以上述べ來つた労働組合戦線統一の障礙は、無産政治戦線の分裂主義と政治的意見の對立に禍ひされたる事實を輕視することは出来ない。然しながら我國に於ける無産政治戦線も「非合法領域に於ける存在は別として」、次第に合同統一へと進みつゝある。今や大衆社民兩黨の合同は既に夫れ／＼の本部に於ても合同提議を受諾し、其体的に合同完成に向つて邁進しつゝある。而も今回行は

れんとする兩黨合同たるや決して單なる政治戦線の統一のみを主眼とするものでなく、兩黨大衆の總意は我國労働組合戦線の統一、合同、産業別組合結成に向つてゐるのである。こゝに今回の合同の眞意義と特殊性がある。他面にはフアツショ紛争の闘争と結び付き、全国的に合同カーパの闘争を展開しなければならぬ。我等は兩黨の合同をより精力的に遂行し、この統一を通じて労働組合戦線の統一、全国的産業別労働組合の完成に重大なる意義と役割とを信じ、これが階級的遂行を強力に闘ひ抜き具體的に労働組合戦線統一の一步を踏出さんとするものである。

實行方法

- 一、全国労働中央委員会に提案すること
- 二、一が決定するなれば日本労働クラブに提案すること
- 三、廣汎なる全国労働組合會議を結成すること
- 政治方面には
- 四、労働大黨本部をして社民、労働大黨の具體的の合同に進めしめること
- 五、兩府各府縣聯合會並に支部を通じて下からの合同に進ましめること

産業別整理促進に關する件

提案 **大阪聯合會 委員 會**
大阪化學一般産業労働組合

説明 **岡 五 郎**

主 文

強力なる闘争體完成の爲に大阪聯合會所屬組合に於て徹底的に産業別労働組合を整理すること

理 由

單一労働組合の結成——この言葉は古くから多くの階級意識ある労働者に依つて叫ばれて來たにもかゝらず、今日に至るまで單一労働組合の結成は豈か、一同盟の産別整理さへ實行されてはゐない。然らば實際にその必要に迫られてゐないのか？ 斷じて否だ。資本家階級の飽くなき搾取と重壓のために労働者は到るところで生活防衛の決死的な闘争を行つてゐる。だが、我々の階級陣營が永一團、左右兩翼分裂に晒され、敵資本家にすら共同動作のとれないとき、資本家は産業別線に沿つて同業組合を組織し、國家権力の擁護の下に労働者に飽くなき魔手を延ばしてゐるかゝる労働階級の受難前に直面した我々は今こそ過去の方